

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 タ凧		
○保護者評価実施期間	令和 6年 11月 1日		～ 令和 6年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和 6年 11月 21日		～ 令和 6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	空間(部屋・場所)や時間の構造化	<ul style="list-style-type: none"> ・どの空間(部屋・場所)が何をするのかを明確化している。 ・1日のスケジュールや特定の場所で行う活動などを視覚化し、見通しを持ったり、何度も確認できるようにしている。 ・頑張った後には好きな活動がある!!と楽しみのもてる組み合わせをして視覚的に提示している。 ・各部屋が個室のため刺激の統制ができ集中できる。 	一人ひとりの個性やニーズを理解し、心身共に安心して過ごせる空間づくりを行う。
2	個々に応じたオーダーメイドの療育プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・本人からの情報だけでなくご家族とも連携や相談をしながら、個々の年代のニーズや発達段階に合わせたプログラムにしている。 ・お子さまが望む遊びや体験、余暇等を選択できるようにして表出や主体性を育むようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の自立や地域生活を見据えた支援を行う。 ・成功体験が積めるよう、楽しみながらお子さまが自分でやってみたいと思うことを増やし、自己肯定感や自己決定力がつくようサポートしていく。
3	ご家族へのサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・LINE等でご家族と細やかに情報共有や連絡調整をしたり、定期的な少人数での保護者向け勉強会と茶話会を開催している。 ・ご家族から相談(家庭や学校などでの困り感等)があったときは、面談をしたり相談員を介して連携会議を開催してもらうなど、迅速に対応するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の不安や悩みに迅速に対応し、関係機関と密に連携しながらご家族に安心していただけるよう努める。 ・お子さまの成長を共に喜び合える関係づくりをしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・学校がある日は、利用時間が短いため個別活動が多くなり集団活動をする機会が少ない。 ・年齢やニーズの違いから、一緒に活動できるお友だちがいないなどがある。 	・短時間でも他者と関わる経験ができるようなプログラムを取り入れる。
2	外出行事のレパートリーが少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・学校休業日や早帰りのときは、公園や図書館などに行っているが、公共交通機関を使つての外出や、果物狩りなど屋外での遊びや経験の幅を増やしてあげたいと思っているが出来ていない。 	・全体ではできなくてもニーズや子ども同士の相性など考慮し小集団でできるよう検討していく。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のお子さまと活動する機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブや児童館との交流は、時間帯や配置できる職員数などから交流の機会をもつことができていない。 ・公園で地域のお子さまと一緒に遊んだりすることはあるが、その他で一緒に何かをする経験をする機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントや活動内容の情報収集を行い参加を検討する。 ・事業所主催で地域のお子さまと交流できる行事の企画、検討を行う。